

学びの領域 幅広い分野を学び、知識・情報・技能を修得。



学びの流れ フィールドワークを重視し、実践的に学ぶ。

<p>卒業基準単位数: 126 教養的科目: ≥28 専門科目: ≥78</p> <p>※2024年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要単位数を超過し、卒業基準単位数を充足します。</p>	<h2>1 地理学と地図の基礎を修得</h2> <p>地理学では何を学ぶのか? 等、多彩な講義と実習から学修の意味と意義を考えます。</p>	<h2>2 地理学の専門領域を学ぶ</h2> <p>地理学のさまざまな専門分野の基礎を学び、フィールドワークで地域調査を行うためのスキルを身につけます。</p>	<h2>3 専門性、応用力を向上させる</h2> <p>応用的な地理学を学修し、地理学を軸としたセミナーを通して議論・発表をする力を身につけます。</p>	<h2>4 卒業研究に全ての学びを集約</h2> <p>地域の課題を解決するために、地域調査やデータ分析をおとした分析力を高め、研究成果について議論します。</p>
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 基礎地図学および実習Ⅰ 基礎地図学および実習Ⅱ フィールドワーク入門 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学基礎セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学セミナーⅠ 地理学セミナーⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学セミナーⅢ 地理学セミナーⅣ 卒業研究
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> デジタル地図の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 人文地理学調査法 フィールドワークⅠ 	<ul style="list-style-type: none"> 自然地理学調査法 フィールドワークⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査・分析法
選択科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学部共通科目〉 身近な環境と人間生活 都市のアメニティ マッピング 地測と測量の科学 地理情報科学の基礎 ジオインフォマティクス 測量数学 自然災害のメカニズム 地球環境システム論 環境と法 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学部共通科目〉 地科学 水の科学 自然環境とエコツアーリズム 測量学および実習 測量学実践実習 グローバル環境ガバナンス 人間活動と環境変化(生物生産と生物圏の物質循環) 人間活動と環境変化(大気圏の循環) 乾燥圏の環境 生物圏の保全 ローカル環境ガバナンス 海外フィールドワーク リモートセンシング ドローン講義 ドローン実習 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門基礎科目〉 人文地理学概論* 自然地理学概論* 日本地誌* 先進国の地誌* 途上国の地誌* 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門実習科目〉 経済地理学 社会地理学 都市地理学 交通地理学 観光地理学* 歴史地理学 文化地理学 地域づくり論* 地域研究1* 地域研究2* 海外地域研究1* 海外地域研究2* 自然計測実習 災害・防災地図の作成と利用 〈学科専門実習科目〉 地図コミュニケーション実習 写真判読法および実習* 地図表現と地図作成 地理情報システム論および実習* 地理情報システムの応用および実習* 特別/海外フィールドワーク1* 特別/海外フィールドワーク2* 特別/海外フィールドワーク3*
		<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門実習科目〉 ※教職用科目 社会科・地理歴史教育論Ⅰ 社会科・地理歴史教育論Ⅱ 社会科教育論ⅠA 社会科教育論ⅠB 社会科教育論ⅡA 社会科教育論ⅡB 		

*は環境システム学科との相互履修科目。 ※学年間相互履修制度がある学履もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

基礎地図学および実習Ⅰ・Ⅱ

講義と実習によって、地図の読み方や分布図の描き方等を学びます。地図の概念を理解し、地域特性を読み解く能力を高めます。

自然計測実習

自然地理学に関するデータを取得するための観察・分析・実験等の手法を、キャンパスおよび野外での実習の経験から修得します。

観光地理学

観光現象を理解し、観光地としての発展過程や地域への影響度などを学び、観光地を地理的・空間的な視点から分析する手法を修得します。

■時間割モデル(3年次第2期)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		地理情報システムの活用および実習				
2	地誌学				地域研究5	
3	災害・防災と利用	地域の自然誌				
4	地誌学セミナーⅡ	都市と地域の計画	歴史地理学		卒業研究の保全と復元	
5						
6						

※2025年度カリキュラムの場合。

■卒業論文テーマ

- 観光列車の車内イベントからみた地域鉄道観光化の地域的拡大と主体間関係
- 新潟県十日町市における素掘り隧道マップに関する研究
- JR川口駅周辺における高層マンションの立地特性
- 武蔵浦和駅周辺地区の再開発事業における土地利用変化と空間利用特性
- 熊谷市南東部荒川右岸における水屋・水塚の分布と利用状況
- 埼玉県東松山市東平地区における梨を活用した観光農業の取り組みと課題
- 横浜市南区桜浜橋通商店街におけるエスニック・ビジネスの実態
- 青森県八戸市における湧水特性と災害時における水資源としての有用性
- 養老川白尾の川廻しにおける人工短絡河川地形の土地利用展開 (ほか)

Topics

学びで課題を解決 「地域貢献プロジェクト」

学びを地域連携や地域貢献に生かす取り組みをとおして、企画立案力や発信力、達成する力等、実践力を飛躍的に伸ばします。これまでに、熊谷や日光の地域活性化や、ネパールの地震で被災した学校に世界地図を贈るといった活動を行っています。

進路・就職 土地の文化や自然を探究し、地域・社会の未来に貢献。

多角的かつ総合的な調査・分析力を、地域の持続的発展に生かせる人材を育てます。

学科で身につく力

- 1 総合的な調査・分析力
情報技術の活用能力
- 2 フィールドワークで培う
観察眼、行動力、課題発見能力、問題解決能力
- 3 資格を取得し
専門職をめざすための知識・スキル

■資格・免許

<p>【旅行専門職】 総合旅行業務取扱管理者* (任用資格) 国内旅行業務取扱管理者* 国内旅程管理主任者* (任用資格)</p> <p>【不動産・測量専門職】 測量士補 測量士* 技術士補 技術士* 土地家屋調査士* 不動産鑑定士*</p> <p>【教員免許】 中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)</p>	<p>学校図書館司書教諭 (任用資格) 【行政職】 社会教育主事 (任用資格) 社会福祉主事 (任用資格)</p> <p>【その他】 博物館学芸員 (任用資格) 地域調査士 (認定資格) GIS学術士 (認定資格) 情報処理技術者* 地図地理検定* 観光英語検定* 旅行業英語検定*</p>	<p>合格・取得サポート講座</p> <p>●情報処理技術者 ●技術士 ●技術士補 ●気象予報士 ●公害防止管理者 ●測量士 ●測量士補 ●土地家屋調査士 ●不動産鑑定士 ●国内旅行業務取扱管理者 ●総合旅行業務取扱管理者 ●地図地理検定 ●TOEIC TEST ●国内旅程管理主任者 (ツアークンダクター)</p> <p>[対応講座] 気象予報士講座 / 国内旅程管理主任者 (ツアークンダクター) 講座 / 国内・総合旅行業務取扱管理者講座 / 教職支援講座</p> <p>[関連科目] 基礎英語 / 実践英語</p>
--	---	--

*は資格・検定試験に合格する必要があります。

■GIS学術士(認定資格)

地理学をベースとし、地理情報システムの知識や技術をj用いて、地域分析および解行を行える人材であることを認定する資格です。

■地域調査士(認定資格)

地域調査の知識や技能を用いて、地域の問題点を俯瞰的に捉えられる調査能力を身につけた人材であることを認定する資格です。

■進路・将来像

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 地図制作・測量関連企業 都市・不動産・コンサルタント関連企業 鉄道・運輸・流通関連企業 旅行・観光関連企業 | <ul style="list-style-type: none"> 各都道府県市区町村役場 中学校社会科教諭 高等学校地理歴史科教諭 大学院進学 等 |
|--|---|

■主な進路

